

自治講習所第十四期生日誌——昭和四年 第十四期生

〔表紙〕昭和四年自一月至四月 第十四期講習生 日誌 山形県自治講習所

凡例

一、記載事項

- 1、月日 天候 当番氏名
- 2、記事（日課其ノ他）
- 3、所感

備考

- 一、記載は墨筆を以てすべし
- 一、当番者は記載終つて日宿職員に提出し次番に渡すべし

以上

一月廿一日 月曜日 晴 氏家榮暢

記事、午前五時起床禊、舎内全部の掃除、式場の準備等をなす。十時半より第十四期生入所式挙行。知事閣下の代理として内務部長殿より訓示を賜はる。所長並に来賓の方より色々の有難き御言葉を賜はる。午后一時半より一同道場集合、名のり合ひ各先生より注意あり、引続き茶話会四時半頃閉会。夕食后消費組合の御話あり、ついで発売等。九時半礼拝就床。

所感、大寒の入りに又自治寮生活〔活〕が始まる。何時も自分は意志が薄弱と云はうか、何時もぐれる、今年こそはと思つて始めても、最初の決心の様には行なはれない。やはり修養がたりないのである。常に修養と云ふことを考へて居る。然しそう思ふ通りには進まぬ一日に一日に深く急がす、弥栄の精神を以て修行して行きたいと思ふ。又あまり暢気でもいけない。大いに出来るだけ努力する決心である。以上

人員移動、丸子君帰宅。

一月廿二日 火曜日 晴 氏家榮暢

記事、午前五時起床、襖甲組掃除、乙組武道、六時半より一同皇国運動。八時から所長先生より皇国精神と農業と題して開講の辞を賜はる。次に赤間先生の教練に付いての色々の注意あり。十一時より習字、船越先生より丁寧なる書法を教はる。午后二時よ

り西垣先生の皇国運動に付いての御説明、実習等。三時半より武道の御説明を船越先生より御聞きした。七時より自習、九時礼拝就床。

一月二十三日 水曜日 曇 杉浦新司

記事、朝五時起床、襖をなし、乙班掃除、甲班武道を成す。六時半に武道終へすぐ皇国運動を行ひ礼拝を為して朝食、八時より東村山郡金井村研究と題して五十嵐先生より村の位置、地勢、沿革、区画、村の土質について教はつた。十時から赤間先生の教練に於ける班別を行ひ、後廻番勤務及び不動の姿勢、部隊に於ける挙手注目の敬礼について教はつた。午後一時から四時迄米穀検査としまして検査所の斉藤先生より教はつた。四時より生徒全部が大掃除をなす。七時から各自自習九時礼拝就床す。

所感、午前の教練の時間に私は痛切に感ぜしめられた事が有つた。其れは親切に付いての事です。例へば自分が他人に対して何か注意をする節は、教へてやる場合に親切心を持ちまして、其の人を自分の手にて其の人を正してやつたとします。こうすればしてやらざる者依りは親切ではありません。けれども、或一方より考ふれば、かへつて不親切でも有るかも知れません。其れよりはその人自身に気を付けさせ、自心〔自身〕が自己を正す様にしたならば、その人自身に取つては注意せしめた人、亦は教へた人は多大なる親切であるでは無いか。と言ふ様な事でした。そうだ、自治寮生活は斯く有らねばなら無い筈だ〔だ〕、こうで無ければならんのだと思起した。以上。

一月廿四日 木曜日 晴 増川八重治

記事、朝五時起床、甲組掃除、乙武道。後一同皇国運〔運動〕、礼拝、第一校時高橋先生農学大意、第二校時杉山先生の園芸、正午昼食、一時二十分より四時半迄一同武道、七時―九時迄自習礼拝就床。

所感、今回懐しき自治寮に於て元気ある十四期の新入生と共に御懇切なる諸先生の御指導の下に再び切磋琢磨の機を得た事を衷心より喜ぶ。共ニ共ニ最善の努力をつくし弥栄の道に追進し以て皇国精神の発揚に努めませう。

一月二十五日 金曜日 曇り 五十嵐正道

記事、五時起床、甲組武道、乙組掃除。六時半一同皇国運動、礼拝、第一校時所長先生の皇国精神に就いて一時間、補講として高橋先生の農学大意、佐藤先生の稲作。午後高

橋先生再び農学大意を教へ下さる。武道、終り。

夜、早川先生山陰に行くに付いて送別会、寮歌を歌ひ十時半礼拝。

所感、新生活に入れる若人は元気に満てる。実に愉快だ、快哉である。俺達は大いに為すべく使命づけられて居るのだ。それがにぶりがちだ。新しき一步を堅実に「いざ進め」だ。

後記、正午頃萩野実習をヒルム（フィルム）にする為め農林省より技師様来りて本所にては講堂に於て拓殖講習会の講師として一葉納た。襖、法螺の合図、ヒルムに納めた。記念となつたわけである。以上。

一月二十六日 土曜日 曇り 斎藤惣右衛門

記事、昨夜茶話会ノタメ今朝ハ六時起床、甲組掃除、乙組武道、六時四十分一同皇国運動、礼拝。第一校時五十嵐先生の郷土史講義一時間、昼まで赤間先生ノ軍事講話をお聞きする。午后は五時まで赤間先生の教練。

所感、人物修煉の燃ゆるが如き希望を以て、入所以来所長先生初め諸先生の御懇篤なる御指導を仰ぎ約一週間の意義ある日をおくる。実に泪ぐましい有難い温情のこもつた諸先生の御指導を仰ぎ、この若人の胸は愈々高鳴り、目標の大なるものを認むる。いざ進まん修養の彼方に。

一月二十七日 日曜日 晴

午前六時起床襖、六時半より甲乙両班掃除、全員皇国運動、日課休日、各自研究。午後七時より寮歌練習、九時礼拝、就床。

所感、新入生と一緒に生活は今や一週になりました。其れにしても名は良く解らならぬものである（「ないものである？」）。初めての日曜日である。準備の為帰宅者数名あつた。今晚初め生期と供（共）に寮歌練習すた所、割合元氣であつた。我等も亦た元氣歌ふた。明日は黒溝台記念日である。以上。 大山寺七郎

一月廿八日 月曜日 曇り

朝五起床、甲武道、乙掃除、後一同皇国運動礼拝。第一校時高橋先生農学大意ヲ、二校時午前九時半ヨリ生徒一同高橋先生の引率のもとに、今日朝日露戦後当時黒溝台激戦を記念として行はる卅二聯隊、黒溝台模擬演習参観に行く。営門をくゞり雑沓（「踏」）ささわまる

参観者の群の間をぬうて、定め場所につく。戦已に始まり両軍間の物凄い砲大〔大砲〕、小銃、機関銃、もうもう立ちこめる煙、今や両軍の陣形手にとる如く見ゆる。怪物タンクの出動、黒溝台の場面は愈々白兵戦と化す。累々鉄条網、両軍間には最早多数死傷者存りと見ゆ。突然彼方より緊張せる空気を破つて休戦喇叭響き、戦は此処に終を告ぐ。分列式を見る。勇ましき喇叭の音、心地よき軍人の活動を見、此処に尊い体験をえて帰校す時、已に一時半をすぐ。昼食す。午后各部委員選挙あり。其後高橋先生の農学大意あり。寮歌集渡す。備、氏家君再び病をえてかへる。我等は大いに同情せずばなるまい。九時礼拝、以上。

一月廿九日 火曜日 雲 伊藤栄二

朝五時起床、乙班武道、甲班掃除。後両班一同皇国運〔運動〕礼拝す。今日の第一校時は所長先生学科があるのでありますが、所長先生は早川先生と一所に上京して今朝七時の秋田行の急行でお帰へりになりました。今日は萩野第三回移住者口頭試問の調べがあるので萩野の高橋猪一先生と所長先生と県庁に行かれましたので、第一校時は船越先生の習字がありました。第二校時は高橋先生の農学大意がありました。午後からも同じく高橋先生の農学大意があり、四校時は武道があるので、今日は柔道部剣道部に別々わかれてしました。剣道部は玄関の廊下で、柔道部は道場でやりました。十四期生の始めて柔剣道しましたが、皆んな上手でした。所長先生もお帰へりになりました、柔道を面白さうに見て居りました。後夕食す。夕食寮歌練習した。九時礼拝就床、以上。

一月卅日 水曜日 晴 海谷新左衛門

記事、朝五時起床、甲組武道、乙組掃除。後一同皇国運動、礼拝、第一校時金井村研究に「ママ」について五十嵐先生に御習十時迄で。第二校時林学大意について横田先生に御習十二時迄で。午後より米穀研究について午後の二時迄で。二時よりさらに駒谷に御習、〇四時、四時より至急で一同大掃除、五時半ですました。七時より自習をして九時礼拝、以上。

杵月卅壹日 木曜日 当番 長坂興七

記事、午前五時起床、一同禊をなし、甲班掃除、乙班武道、皇国運動、後一同礼拝朝食七時。第一校時皇国精神と農業に付いて所長殿より。第二校時果樹栽培に付きて杉山先

生より。果樹苗木仕立栽培・梨樹剪定法に付きての印刷物各一冊ずゝ配布さる。午后赤間先生の軍事講話、之の時間は高橋先生の農業なりしも、時間の関係上次校時の赤間先生の時間をくり上げたるなり。四校時剣道の先生が来所なされて剣道札法を教はる。夕食六時納豆かけ飯なりき。後自習時間高橋先生の友人先生を訪問せらる。助手須藤君弥栄印刷に付きて午前中より未だ印刷所より帰らず、夜本月中の食費会計ありき。

感想、愚生短才仕事不なれな為、労多くして効少し。諸先生にめいわくをかけし事恐縮致します。何卒御寛容の程を願ます。午后拾時記稿。

式月壱日 金曜日 当番長 安達清次

記事、午前五時起床、一同襖ヲシ甲班武道乙班掃除、一同皇国運動、後一同礼拝七時朝食八時半カラ、第一校時ハ皇国精神ト農業皇国運動ニ付キ所長先生。第二校時稲作研究ニ付いて佐藤先生ノ話。十二時昼中食、午后第三校時福〔副〕業ニ附いて鈴木先生ノ話、第四校時船越先生カラ。武道ヲ習マシタ。六時夕食九時頃カラヲ温ニ入浴〔浴〕シテ九時ニ礼拝、床休。

感想、自治寮生活で習字ガヘタテ一番平行〔閉口〕シマシタ。

式月二日 土曜日 当番長 寒河江信一

記事、午前五時起床、一同襖をなし、乙は武道、甲組掃除、皇国運動なし、食事。第一校時八時―九時まで五十嵐先生の郷土史について、九時―拾時半まで高橋先生の農学大意、拾時半―拾二時まで赤間先生の軍事講話がありました。昼中食一時―五時まで赤間先生の教練がありました。五時四拾分夕食。九時礼拝就床。

二月三日 日曜日 晴 当番 峯田理市

記事、午前六時起床、一同襖をなし甲乙両班掃除、皇国運動礼拝致し朝食、日課休日、各自研究。先生並に生徒二三名にて弥栄發送に着手した。午前中一名、午後一名見知らぬ来客ありたり。夕食六時四十分礼拝九時就床。

感想、今日は日曜日一週間一度にて皆々楽しくて外出致します。学校は今日丈は物淋しく有ります。

二月四日 晴 当番 石塚五郎

記事、午前五時起床、一同禊をなして甲は武道、乙は掃除、皇国運動なし食事。第一校ハ八時から十時までは高橋先生の農学大意、十二時まで赤間先生の軍事講話、中食、一時から三時まで立岡先生の地理、三時から五時まで赤間先生の軍事講話、六時で夕食で九時で一同床につた。所長先生は大高根に行五時頃おかえりなる。

二月五日 晴 火曜日 当番 高橋亮

記事、午前五時二十分起床、一同禊ヲナシ乙班武道、甲班掃除、皇国運動ヲナシ食事。第一講ハ所長先生ノ皇国運動ノ才話、第二講ハ船越先生ノ習字、十二時昼食、第三講ハ所長先生ノ話ノツヅキ、第四講武道、午後六時食事、九時一同床ニツク。

二月六日 水曜日 当番 遠藤善次郎

記事、午前五時起床、一同禊ヲナシ、甲班武道、乙班掃除、皇国運動ヲナシ食事、第一講ハ五十嵐先生、金井村研究、第二講ハ横田先生ノ林学大意、十二時中食、第三講ハ熊谷先生ハ米穀研究、午後三時半ヨリ一同大掃除、六時ニ夕食、九時ニ一同床ニツク。

二月七日 木曜日 晴 当番原田十郎

記事、午前五時起床、元気の声を上げながら禊場に行き一同愉快に終わりました。各自室を掃除して階下に一同集合、乙班は武道で甲班は掃除、一同皇国運動をし礼拝澄〔済〕み、一同笑顔で朝食を始め七時半終る。八時から十時迄所長先生の皇国精神に付て、十時於十二時迄杉山先生の園芸研究に付て、正午昼食を始む。午後一時於三時迄舟越先生に習字を習ひ三時終り、五時迄赤間先生に教練を教られました。六時夕食を始む、七時迄有志の武道有った。一班二班の準じよ〔順序〕で湯に入る。九時礼拝し一同一夜の夢にうつる。終り。

式月八日 金曜 事務室当番高山政雄

記事、暁闇を破り法螺の音、寮内に響びく、時に五時。禊場にはしばしシブキ飛ぶかふ、御早う御早うの声はあな爽やけき心から出でて、寮内八日の朝はかくして明けた。各自部屋掃除終はり、事務室前廊下に集合、乙班掃除、甲班武道、次一同皇国運動。礼拝、済んで廊下を通れば炊事室より洩れくる味噌汁の香氣、飯の香、やがて朝飯の御一

同食卓に向ひ感謝の箸をとる。

午前八時授業始め、高橋先生の農学大意十時迄、次二時間佐藤先生の稲作講義あり。午后一時終り鈴木先生の副業、次東海林先生の剣道の時間、先生ノ時間第二回目、片手、横面、御面、突き妙技を授く。今日の授業時間割の変更なし、休み時間船越先生より柔道けいこ着渡る、珍しき剣客、西垣、高橋両先生の荒々しいけいこを拝庁「聴」す。御兩人とも直心影流目録の腕前と見る。剣道終りしは六時、空腹は美味なる汁粉餅によつて充たす。小生不束の義、今後御鞭撻御指導の程を御願ひしてやまず。珍菓子を戴きしこと、又身の光栄とす。以上。

二月九日 土曜 時々雪 事ム室当番 樋口善三郎

やみにひびく法螺貝に一同眼が醒めて直ちに勇ましく禊場へ、其して毎日毎日清き心を持ちて我等四十余名の若人は人物完成への一路を進んで行くのである。今朝は甲班掃除乙班武道、其れより一同皇国運動礼拝しまして、朝食八時過より五十嵐先生の郷土史、東北人の鈍なる点につき、文化の低き所につきて教わりて、正に我等東北人を覚醒せねばならぬとの責任の重きを感じました。九時半より高橋先生より図書室の岩石標本につきて御説明を御聞しました。今日は午前十時より野外教練となつて居りますので、一同用意午食携帯の上門前に集合、赤間先生引率の下に一路陸軍墓地へつき参拝す。地下にねむる幾多勇士の英霊、御国に殉じられた先輩を思ひて感慨深きものがあつた。日露戦當時を思ひつゝ吹雪にほゝを吹かれ乍らばんをかちる、水はない、雪を食ふ。直ちに千歳山の射撃場へ向ふ。時、天は我等に試練を与え給ふ。一寸先も見えぬばかりの大雪降、積雪を踏んで千歳山麓に至り距離測定、散兵其他の事につきて教わり帰途へ。三時講習所着、今日恰も旧暦正月と云ふので帰宅するもの数知れず、残るもの僅かに十八名。

二月十日 奥山政治郎

今日は旧正月の事とて人々家に帰へる。学校に居る者は十六名、朝六時起床、一同神明神社に参拝して帰へつて掃除及皇国運動、礼拝して朝食、休日とて課業なし。五十嵐君、江波病院入院、後事なく九時礼拝、床に就く。

昭和四年二月十一日（月）太田宇宙

六時起床掃除皇国運動礼拝朝食、朝食は餅を食す。今日は紀元節である。で休日と同じく

なる。日昼はいじよう〔異常〕無く九時礼拝して床につく。

所感、紀元節だと云ふ為だか気が晴々して朝から気持がよい。皇々動〔皇国運動〕の時はなほさらであつた。なにしろ気持のよい日であつた。

朝（礼拝の時）新玉の栄を祈る君が子の 理想の本にいざ進まなん

（皇々動〔皇国運動〕）日の本の国のはたらき己が為 国の為にと身もたほるまで

（雪を見て）雪ごとに思ひ出だせる日の本の ヤマトタケオ 日本武士に起てる白雲

二月十二日 火 晴 高橋助治

朝五時起床襖をし外を望めば晴天にて此の日は朝より心も晴々して有つた。先ず第二のほら貝と共に甲班は武道、乙班は掃除、第三ほら貝に一同皇国運動、七時半に礼拝して朝飯。学果〔課〕は八時半より第一校時、所長先生の皇国精神と農業、二校時は奥田先生の地方制度、午後高橋先生の農学大意、三時よりは船越先生不在の為め柔道剣道の自習、六時に夕飯、六時半に船越先生御帰り、七時頃高橋先生の家より伯父死□との御知らせが参りてあつた、九時ニ礼拝、以上。

（晴に付ひて）晴の日に外出するの心ち良き いざや進まん晴の日に

十三日 終日 雪 鈴木源次郎

朝五時ノホラ貝ニ飛ビ起キテ平常ノ通り日課ニ取りカゝツタ。高橋先生ハ故郷ニ不幸アリシタメ帰宅セラレタ。謹ンデ御悼ミ申シ上ゲル。本日朝鮮移住希望者ノ考查ガ行ハレタ。夕食後生徒ノ体重ヲ計ツタ。皆意外ノ増量ニ微笑シナガラストーブヲ困ンデ居ル。

二月十四日 木曜日（時々雪）事務室当番 茂木修策

時ハ正ニ五時、黎明ノ大気ヲ破ツテ寮内ニ響ク法螺ノ貝ノ音、階上、階下、寮生皆一同ニ跳ビ起キテ禊場へ。寮歌ノ声モ元氣ヨク、ザアザアト浴ビル水コソ我等将来ノ忍耐ヲ鍊ルノダ。氷ヲ破ツテ浴シル時、思ハズ天皇陛下弥栄ト叫バサルヲ得ナイ。五時半ヨリ甲班掃除、乙班武道、終ツテ皇国運動、礼拝、濟ンデ朝飯ヲ頂戴ス。今日モ亦温イ御飯ヲ頂ク事ガ出来ルカト、真ニ植物ノ大恩感謝ヲ感ズ。我々人間ハ感謝ノ意ナクシテ生存シ得ラレ様カ？ 所長先生ハ武徳会講習会ニ出席ス。高橋先生ハ未ダ帰所セラレズ。一校時八時半ヨリ習字、船越先生ノ書方ノ教導、漸次書方モ上達ス。是レ一重ニ先生ノ熱誠ナル御教導ノ賜ト感謝ノ外アリマセン。午前十時三十分ヨリ赤間先生ノ救急法ノ事柄ノ御講話、午前十

一時ヨリ杉山先生ノ果樹ニ就キテ施肥ノ関係、四要素ノ配合ノ御講話アリ。一時間デア
 ル為メ施肥ノミ御講話。正午、午後一時十分ヨリ赤間先生ノ教練、折敷、伏七、立打ノ姿勢等
 ノ射撃姿勢ニ就キテノ御説明少々実施、三時ヨリ三八式歩兵銃ノ御説明外質問、此ノ時ニ
 感ジタ事ハ、我々ハ大和民族トシテ戦地デナクトモ天皇陛下ノ弥栄ノ為メニ共産党ノ如キ
 者ハ射撃ヲ以テ七名モ一度ニ貫ク様ナ勇氣ト忍耐ヲ鍊ル必要有リト思ス。忍耐忍耐何事モ
 忍耐奮闘。青年時代ノ維新ノ健児ヲ見ヨ。午後五時半夕食、我ニ此コニ入所以来一ヶ月諸
 先生ノ御教導ニ依リ自己本来ノ真面目ヲ反省シツ、大和魂ノ本旨ヲ得、将来ハ益々自己修
 養ニ勉メ、モツテ皇国弥栄為メ献身報国以テ、人生ノ使命ヲ全ス。誓言シツ、礼拝、愉快
 ナ一日ヲ終ヘテ床ニ就ク。

今日も亦 禊する身の手伸さよは はかなく送くる人にくらべて (完)

二月拾五日 金曜日（時々雪） 鈴木運太郎

階上ノ時計ノ五時ニ目ガウロウロシテ居ルト、法螺貝ノ合図ニ一同起床、禊ギ場ニ行き、
 順々ト自分ノ悪ケガレヲ掃ヒ下ス為ニ意気旺盛ニ禊ギ、我先キニ致シ、甲班武道ニ乙班ガ
 掃除ニト五時半二分レ、六時半迄デ武道終ヘ、皇国運動、如何ニモ意気ヨク殊ニ寮歌ハ天
 ニモ我等青年ノ前途ガ上ル精神ニテ終ヘ礼拝、朝ノ食事ハ七時半、八時ヨリ赤間先生ヨリ
 軍事講話、止血法ノ事ニ就テ二時間、三十分休ミ、拾時半ヨリ舟越先生ヨリ直心影流法定
 来歴ニ就テ拾二時迄、拾二時半ニ昼食、ジャム麵麴ヲ戴キ、一時ヨリ鈴木先生副業ノ草履
 表ニ関スル御話シアリマシタ。三時カラハ東海林先生ノ剣道アリマシタ。マダ東海林先生
 ハ御出ニナラナイ内ハ船越先生直心影流ノ打込アリ。間モナク東海林先生ガ御見エニナリ
 マシテ、色々ト剣道ノ型ヲ習ヒ後稽古有リマシタ。七時ヨリ第六室デ十四期生ノ最初ノ各
 委員会ガ開催セラレタ。委員会八時半終了、九時礼拝、寝就ス。

二月拾六日 土曜日 晴 早川貞治

例の五時起床、元気に禊、甲班掃除、乙班武道、病者なき模様なり。五十嵐先生交通上か
 ら見た郷土史を聴く。高橋先生：変成岩の成性等を筆記す。赤間先生の時間には国防の要
 否、国防の意義等、異論百出と云ふ訳ではないが、而し感心した論議はなかつた様である。
 午後は赤間先生事故あり、武道をなす。二時余り法定の型の説明あり、一回づゝ型を習ふ。
 本日より型に入ることになった。夕刻より外出人多あり。

二月拾七日 日曜日 晴一時雪 安食亮三

例により六時起床日課通り、禊、全員掃除、礼拝、食事とやり、時七時半を過ぐ。今日は日曜なので皆一段の元気をなして、寮歌をはりあげるもの、スキーに出かける者あり。寮内は歓気に満たされました。午後は外出者多く、午前にひきかへ実に寂寞たるものであつた。本日は先輩の白田君が帰家、来所者は高橋亮君の村の校長先生とかおしやる人に先輩の岡崎君、高橋先生の友人の軍人さん等がこられました。夜七時頃より年一度やるとか云ふ、先生と助手さん達の職員会議の様なものを高橋先生の官舎で開かれ謡曲等もやられた様で大変賑な声が聞えて、又高橋先生の独特の笑声等も聞えて賑な様でした。地方出張中の西垣所長先生は夜の七時頃帰所されました。七時より自修、九時礼拝、九時半消灯、無事昭和三〔四〕年二月十七日も過ぎ去りました。帰宅者、浅野、安達、武田の三君。

所感、高橋先生と色々話して、何事も自身の力によりなるもので気力実行にある事を痛切に感じました。私はまだ何もわからぬ馬鹿者であるから、諸先生の御力をかり、今後益々大いに努力する事を新にしてこゝに誓つてやまない次第であります。「なせばなる なしてならざる事は無し」とか精神一致〔倒〕何事かならざらんであります。以上終。

二月拾八日 月曜日 時々雪 大江米松

例の通五時に床を立ちて老同清き水道の水にて禊をなし甲班武道乙班掃除をなし、六時二拾分より一同道場にて皇国運動を元氣よくす。寮歌も又声高らかに天にとどろく様でありました。七時四拾分より一同礼拝す。七時五拾分に朝食をす。八時二拾分より所長先生の講習会に行きての所感を一同に話す。それより皇国精神と農業の講義す。拾時より舟越先生の習字を習ふ。一時より地理地図の見方、温流や寒流に付き習ふ。参時より直心影流の一本目のかたを習ふ。六時に夕食をおへ七時より自習す。九時より一同礼拝をす。一同無事床に付きました。実に月日は早い物である。自治生活をなしてより最早二拾八日間をたのしくくらししました。

二月一九日（火曜日） 雪時々晴 深瀬春末

階上ノ時計、夜ノ静ケサヲヤブツテ五時ヲ打ツタノデ目ヲサマシテ居ルト、ブウブウ起床ノアイヅダ。法螺貝ノ音ハ朝ノシズケサヲヤブツテ永遠ニ水ノ流ル、如ク響キ渡ル。武道ノ打込ノ気分ヲ持ツテフトンヲハネケツテ起キマシタ。禊ニ行クトオ早オ早ト云フ声ハ其

処此処ニ聞ヘル。意気揚々ト声ヲハリ上ゲテ歌ヲ歌ヒナガラ禊ヲシテ居ル。今日ノ悪ヲ払ヒ落スノデス。其レヨリ室ニ帰ヘレバ皆々ノ室デハ掃除ヲスル音ハ聞ヘル。其レヲシテ居ルト又貝ガナル。オモイオモイノ仕事ノ仕度ヲシテ自分自分ノ仕事ヲスルノデアル。六時三十五分デ一同皇国運動ヲシ元氣善ク寮歌ヲアルカギリノ声デ歌ヒマシタ。七時五十分ニ一同礼拝ヲ行ヒ朝飯ハ八時五分。八時四十分ヨリ十時十分マデ所長先生ノ建国精神ト農業ノ講義デアツタ。十時半ヨリ農学大意、高橋先生ノ講義デアツタ。午後一時ヨリ地方制度ノ奥田先生ノ講義ハ午後三時マデ。三時二十分ヨリ五時十分赤間先生ヨリ教練ヲ習ヒマシタ。六時五分夕飯ヲオヘ七時自習、九時デハ一同礼拝ヲシタ。九時半デ床ニ付ク。

元日の朝になく音は雀かな

〔梓の上部に〕元日の朝から忠々雀かな

弥栄 貳月二十一日 水曜日 晴夕方小雪 武田忠次郎

暗夜を破るホラ貝の合図に目が醒めて、一同勇ましく禊に身を清め順予〔序〕正しく各作業動作に武道に甲班乙班は掃除にきまりよく終へ、次に勇ましき皇国運動、最後の寮歌に依つて増々勇み起る。終ると礼拝、八時頃に朝食を戴き、授業の時に第一校時の金井村研究、講師五十嵐先生都合上欠席、そのために農学大意高橋先生の講義をききました。第二校時林学研究、講師横田先生も都合上欠席せられましたので、変りに野外教練赤間先生、所庭に於いて雪上で訓練、手旗信号等を習ひました。後半第三校時一時半より米穀研究駒谷先生、四時に終り第四校時に大掃除、終つて六時半に夕食をすまして七時より九時迄自習、礼拝を終へ九時半消灯、無事に床に就く。以上〔異状?〕なし。

二月二十一日 木曜日 晴 佐竹伝三郎

例の如く五時に起き出で清き水道の水で禊をなし、日課にうつる。古神道辨に就て西垣先生より、果樹の施肥を杉山先生より、午後は薬師公園で斥候の動作ヲ教そはる。夜は第一回ノ研究会開催す。研究事項は青年団の施設経営に就て、糠目青年団金井村青年団についてお聴す。真面目な会であつた。終りし時は十時十分前であつた。礼拝の時、明日の起床は六時の報は所長先生より午后十時半就褥。

二月二十二日 金曜日 晴 海老名辰郎

起床六時、天気晴朗。武道休み、農業大意、稲作研究。午後鈴木先生御出張に付き、師範

講堂に於て。師範学校長の講話を謹み聞く。県下各地の小学校長出席。講話は健〔建〕国精神に関する事。帰りて剣道。やゝおそくなつて食事。夜購買組合の運転資金五十銭、各人より集む。また本日渡した地図の代金を集む、数名未納。風呂をわかす。本日は第一班より入浴。九時礼拝就寝。

二月二十三日 土曜日 曇り雨 堀川時政

起床五時乙班武道、甲班掃除、午前は郷土史、農学大意、軍事講話、午後一時より五時まで赤間先生の軍事教練でありました。九時に礼拝しまして就寝しました。食事後に事務に居まして、だれも居なくて大辺たいくつでした。礼拝後水〔炊〕事当番が火を持きたのを火鉢に取りていけて湯わかすを上で来まして床に付ました。

二月二十四日 日曜日 天気雪 富樫

起床五時、一同掃除。七時皇国運動、七時三十分礼拝、礼拝後食事、食事後半数外出シタ。十時二十分頃高橋先生ノ友人ガ行マシタ。高橋先生、免□〔赦？〕講習会ニ行、四時五十分頃カヘツタ。九時礼拝ヲシテ床ニツキマシタ。以上
今日も今日とて吹雪かな

二月二十五日 月曜日 天気曇り 大沼

嗚呼、月日ノ達〔経〕ツノハ早イ。吾等ガ入所以来早一月有五日、大寒ノ厳シキニモタユマズニ夢ト過ギテ来タ。今日モ又変ラズ勇マシキほら貝ノ音ニ気憂ノ床ヲ飛び起キテ吾レ勝ちニト禊ギ場エ。嗚呼何タル男々シキ自治ノ健児ゾヤ。俺事務室ニテ働キ居レバ道場カラハ烈迫ノ気合寒気ヲ振ハシ、自リデニうむト力キムヲ覚ユ。然シテ□麗ナル法定ノ面目髣髴トシテ我ガ脳裏ニ浮デ来ル。

朝鮮ニ移民スル吾レ等ノ選手諸兄五人モ続々ト事ム室ニ入り、或ハ雑巾ヲ採リ、或ハ火ヲ起シタリシテ、種俺ニ手伝テクレタ。週番ノ高橋亮君モ色々ト御施〔世〕話下サレテ非常ニ嬉シカツタ。

須藤助手ハ移民者諸君ニ事ム室前ノ広廊下ニ於テ皇国運動ノ指導ラサレテ居タ。間モナク、所長先日モ御目見エナリ。須藤助手ト共ニ熱心ニ御話ヲナサレテ居タ。嗚呼ホノ暗カリシ窓ハ全ク明ケテ寒ソウナ灰ノ如キ雪ガホロホロト窓ニ降テ居タ。俺ノ事ム室ノ掃除モ一切リ着イタノデ時計ヲ見、天照大神ノ宮ノ御戸ヲ開タ後、ほら貝ヲ吹キ皇国運動ヲスルベク

先生助手サン達下道場エ入タ。御目出度イ事ニ武道ノ船越先生ノ家ニ赤サンガ生レタトノ事、然モ玉ノ如キ男児トハ先生モサゾ御嬉〔喜〕ビノ事ト思フ。今日ハソレデ高橋先生ガ御導導〔指導〕ノ任ニ当ラレタ。六時四十分礼拝、嗚呼神前ニ額ツキテハヒタスラ弥栄ヲ祈リ自ガ身ノ皇国ノ御役ニ立タン事ヲ誓ノミデアル。

勅語奉読ノ時ハ吾レナガラ畏シサニ胸ガ高鳴タ。然シ無事弥栄三唱ノ時ハ思フ存分魂ヲ込メテ唱エタ。

一、皇国精神ト農業及ビ移民者エノ訓示

二、軍事講話、地図ニ付テ。午后一時ヨリ所生一同、所長ニ卒カレ師範学校マデ出張シテ

三、地理ノ講習ヲ受ケタ。学校ニハ受験生ガ多勢居タ。

四、軍事教練銃剣術練習（赤間先生）

嗚呼自治寮ノ一日モ暮レナントシテ剣術ノ気合ノ音ニホノ暗キ道場ニハ早ヤ電灯ガ灯タ。

嗚呼修用〔修養？〕ノ日ハ短シ。夕食ノ鈴^カネニ空腹ヲコラタ若人達、食堂エ雪華^{ナダレ}ノ如ク入込ダ。嗚呼全ク夜ニ入タ……………九時礼拝。

弥栄弥栄。

二月二十六日 火曜日 天気晴 高橋曹治

五時に起き禊して甲班掃除乙班武道後六時半より一同皇国運動、七時礼拝して七時半に朝食、八時半より所長先生の平康、郡山植民者と共に講習を受た。（植民の要件）に付いて十時まで、十時半より所長先生の講話のつづき、十二時まで昼食、一時半より習字、勅語を書いた。植民者は武道、五時半迄、習字の方は四時まで五時半夕食、七時半より茶話会、一、開会辞、佐竹傳三郎君、茶菓与〔余〕興及び寮歌をうたひ、閉会辞齊藤惣工門君九時、九時礼拝して九時半消灯、郡山平康植民選手、弥栄弥栄。

二月二十七日 水曜日 晴 佐藤清見

今朝五時半起床、禊して甲班武道乙班掃除す。僕事務室当番に当り事務室所長室掃除す。七時より一同皇国運動し礼拝す。君ガ代弥栄三唱朝食事す。八時半より読書。一時間目は五十嵐先生の金井村研究であつたが都合の為め来なかつたので、所長先生からの講義を受けた。二時間目は横田先生からの林学大意。三時間目は即ち午後一同室かえ、午後一時半より米穀研究、四時より大掃除す。僕は事務室掃除す。今日迄で三日間の平康、郡山植民人は今日迄での講習会、終えて帰村す。日誌八時四十分を書く。九時礼拝安眠す。

二月二十八日 木曜日 笹木繁雄

夢ヲ破リ床ヲ跳ネ意気活揚ノ吾等青年ハ、洗面場ニ行テ声ヲ勇ノ寮歌ヲ歌ヒナカラ禊シタノハ真当ニ愉快デアリマシタ。六時半ヨリ乙班ハ武道甲班ハ掃除、各員ハ分担的ニ分レテ本日ノ第二ノ業務ト。七時四十分皇国運動シ礼拝、八時三十分ヨリ五十嵐先生ノ予定デ有リマシタカ、不在ノ為メ所長ノ皇国精神ノ講義、即チ古神道。古神道の吾人ノ発揚及精神ノ本質ノ一部ノ講義デ有リマシタ。第二校時目ハ杉山先生ノ不在代リ農業大意デ土壤ノ凝集力及粘着力及孔竅通気力等ノ徴〔緻〕密ナル講義デ有リマシタ。午後ヨリ副業ノ鈴木先生ノ縄ノ講義デ有リ、四校時目ハ教練赤間先生ノ弾丸（実包）ノ講義デ随分面白カツタ。即常織〔識〕的ノコトデ有リマシタ。夕方ハ萩野植民希望者カ見エマシタ。夕飲〔食〕ハ青年ノ粘リノアルナツトウヲ健児諸君等ト楽シク楽シク食ベマシタ。最後ニ本日ハ天ニ恥チ地ニ苦ブ。

三月一日 金曜日 我妻大治

朝五時に起床し禊をし五時半より甲班武道、乙班掃除、六時半より皇国運動、萩野移住者見学、七時礼拝後朝食し、八時から高橋先生の農学大意の土壤と水との関係の講義を聞き、十時から萩野移住者の宣誓式がおこなはれた。一、所長先生からの開式の辞あり、二、一同君が代を歌い、三、所長先生の勅語捧〔奉〕読、四、所長先生の委員としての話がありました。五、高橋諸〔猪〕一先生の指導員挨拶として、萩野開墾の初年から本年までの経過した話がありました。六、長官のかはりに内務部長の訓示として高橋諸〔猪〕一先生を手本として萩野移住者は自己の成功と又平和な村となられる様との話がありました。七、移住者総代の宣誓がありました。八、所長先生からの閉式の辞があつて式が終つて昼食し、午后三時から先生、一笑会幹事、移住者追進会講習生一同、道場で茶話会があつた。午後六時頃に夕食、七時から自修、九時に礼拝して夢に入らんとす。

三月二日 土曜日 晴后雪 松田

記事、五時起床乙組武道、甲組掃除、皇国運動、移住者見学、礼拝、八時より十一時迄高橋先生緬羊の御話し、十一時より一時迄奥田先生の地方制度、二時より五時迄赤間先生

生の教練及び学課。自習時間なし、九時礼拝就床。以上。

三月三日 日曜日 雪 大江

例の通り六時起床して元氣よく禊をす。萩野移住者は講堂にて六時半から武道をす。生徒一同して掃除をす。七時から皇国運動をす。八時に礼拝す。食事八時拾五分皆んなパンヲ持つて東沢村に緬羊を見に行きました。會田さんの家に行つて緬羊の飼育並に加工法仕上げたのを見たりして拾時半頃から石沢様と外二家の緬羊の子を見て来ました。石沢様と佐藤様の家と二家に別かれてパンを食しました。拾二時に出発しました。水道に附いて話を聞いて講習所に来たの二時でありました。萩野移住者拾六名同講習生三拾名無事に終りました。後は自由でありました。所長先生と須藤君は「数字分空き」。八時に上ノ山講習会に行つて帰られました。本年度第一回の見学ぶ事が出来ました。

三月四日 月曜日 晴 斎藤

朝五時貝の音と共に飛起き掃除を済し、六時四十分皇国運動、礼拝、八時半から所長先生の建国精神の反省について有益なる御講義に修養し、十時より赤間先生につき、屋外教練を修養させていたゞく。午後一時より師範学校に出張、立岡先生につき朝鮮地理をお聞きする。三時より赤間先生に各委員週番事務室に集合を命ぜられ、教練を通したる種々の修養が良く行はれてゐないといふことについてお話しあり。先生のお教へ下さらんことのうち出来ないことかあればやめて、出来るだけのことをしつかりやつた方が良くと云ふ様なお話を承つた。夕食後講堂に一同集合して右について先生のお話をみんなにお伝へし、意見を聞いた所、一同出来る、やつてみせる、やらねばならぬといふことに意見纏り決心を申合せた。入所以来一ヶ月半、益々愈々真実の愉快が味はれることがうれしい。出来るだけ奮発してみよう。

三月五日 火曜日 晴 浅野

朝五時起床、甲班掃除乙班武道、六時半より皇国運動、午前八時より所長先生の建国精神講義ありました。十時より奥田先生の地方製土（制度）ありました。昼飯正午一時より鈴木先生の副業でありました。三時より柔道剣道自由に勇ましく奮闘致しました。后午六時夕飯過ぎしました。七時より自習時間、九時礼拝感謝して安眠致しました。

三月六日 水曜日 晴

朝五時起床、甲班武道乙班掃除、六時半ヨリ皇国運動、午前「ママ」半ヨリ所長先生の建

国精神講義あり。また十時より横田先生の林学大意あり。また昼飯午後一時より米穀研究あり。また午后四時より自修であります。六時夕飯過ごし、また七時より茶話会はありました。九時礼拝感謝して安眠致しました。終り。

三月七日 木曜日 晴 安達

朝五時起床、禊五時三十分、甲掃除乙武道、七時一同皇国運動礼拝、七時四十分朝食、八時から九時半迄金井村研究、五十嵐先生ノ講義、萩野移住者、所長先生ノ講義。十時カラ萩野移住民講習会ノ修了式ヲ初メマシタ。修了式順、一、開式ノ辞所長先生、一、礼拝一同君が代勅語棒〔奉〕読所長先生。修了鑑授与所長告示、長官訓示来賓祝辞、修了生総代答辞、閉式辞、弥栄三唱。以上。十二時昼食、一時三十分高橋先生ノ農学大意三時迄、三時五時赤間先生ノ軍事講話、六時夕食、七時九時迄事室〔ママ〕デ高橋先生ノ御話ヲ聞き、九時礼拝床休。以上。

三月八日 金曜日 晴 杉浦新司

記事、朝五時起床、禊、甲班武道、乙班掃除、六時半より皇国運動、礼拝を為し、八時より高橋先生の農学大意、主として土壤中の有機成分及び微生物に就いて教はる。十時より十二時迄稲作研究、午後一時より鈴木先生の副業の筈であつたが、都合上所長先生の皇国精神と農業であつた。三時半から五時迄剣道七時より自習、九時礼拝就床。

三月九日 土曜日 大山喜七郎

五時起床乙班武道甲班掃除、七時十分頃より全員皇国運動、第一校時五十嵐先生の郷土史、次は農学大意であつたが、時間が無くて中止、第二校時は赤間先生の軍事講話であるが、出張の為無かつた。后正まで森谷我農園主任より経営状態及び生産加工に付き御講話あり。午後一時半より四時まで全員武道、九時礼拝就床。以上。

参月十日 日曜日 井上熊太

記事、今日は日曜日で朝六時起床し禊をして各室掃除をして六時半甲乙両班共に掃除して七時に皇国運動、七時半には礼拝致して、八時に朝食した。本日は三月十七日一笑会総会なので、其の案内状發送致しのに手伝ひ等してばんやり日を送る。九時礼拝して就床……。以上。

所感、月日は流る、水の如く。こんな風にして居る内に自治寮生活も余し処四十余日にせまり、今や春風に雪は消へて大高根の大高原に行くのである。早く早く行つて見たくなりません。

三月十日 以上。

三月十二日 火曜日 朝雪降後曇り

記事、朝五時起床、甲班掃除乙班武道、皇国運動、一同礼拝、八時より十時で所長先生の我が建国精神反省、十時より十二時般〔船〕越先生の習字の自習。午後奥田先生、都合の為一時より所長先生ノ建国精神反省、三時まで。三時より五時半まで般〔船〕越先生の武道、七時九時各自研究自習、九時礼拝就床、以上。

所感、朝事務室掃除して居ると、遠藤君より御手を借り掃除、又各室に炭をさしにしてもらいました。礼拝の時僕ノ頭はテフル〔テーブル？〕にあたりましたから僕は相澄〔済〕まないと思ひ（もと元）と云ふと思たけれども引続すへみました。意感〔遺憾？〕に絶いぬ次第です。 終 海谷

三月十三日 水曜日 晴 高橋助治

我等進々と眠んで居る時、法螺の貝の音に目を床より起き、襖場に行き見れば、二人が今や禊せんとする所で有んた〔あつた〕。で私しも禊をし居る時に一同が御早様〔おはよう〕御早様と明の鳥の様に、実に其の時の気持は実に故郷に居る時は眠見る事も出来ません。第一身を清め、第二は故郷は別々なれど一家と同じな所は軍隊と同様、自治の本質が表はれて居る。第二の法螺貝に甲班は武道乙班は掃除、六時半に一同皇国運動、今日は杉浦君が代表者と成り意気清々動々なるもので有んた。此れは昨日所長先生の教が一同客解し得たる欲し口鳥と私しも思んた。七時には礼拝修ると先づ〔すぐ〕朝飯を頂き、済んで郵便物を入に行く為め事務室に来て見ると五十嵐先生は御出で有んた。此時私しは五十嵐先生の時間の正確な事に実に驚き入んた。第校時五十嵐先生依り産業組合に付色々御聞し、五十嵐先生は村に会議が有るとの事で九時に御帰に成んた。九時依り高橋先生の農学大意、土壤の吸収力御聞、十時依り横田先生の林学大意。午後は駒谷先生の米ノ検定。四時依り大掃除、第一事務室、第二階下、第三階上全部。六時に夜飯済んで先づ入湯に行き、帰って事務室に行きし所、先生方はアマ酒の大鑑定〔大鑑定？〕をし居る所で私しも其の中に入りて頂戴しました。いや実に良いアマ酒で有んた。九時には礼拝し一同休んた。所長先

生は庄内方に講話に行きしとの事で、此日は居りません。修り。

三月十四日 木曜日 吹雪 石塚五郎

朝貝の音に床を出て風呂場に走って行て襦をやり、事務室きて掃除をやり、六時半で皇国運動をやり、七時で朝食ワ八時より、十一時半迄は高橋先生の農学大意、十二時で昼食、后後一時より三時迄では船越先生の書方、三時より五時迄では赤間先生の教練であた。事務所に所長先生も帰てをた。六時頃に夕食で自修迄は話はなく礼拝になた。礼拝の時は秋田青年も十余人も一同出て拝したて、事務室で色々の動きをやり、九時半で貝の音と共に床についた。以上。

三月十五日 金曜日 晴夕方ヨリ雪 高橋亮

記事、朝五時起床、襦ヲシ五時半ヨリ甲班武道乙班掃除、六時半ヨリ皇国運動、礼拝、是等ノ日課ヲ秋田県ノ青年ガ見テ居ラル。七時朝食、八時ヨリ十時マデ高橋先生ノ農学大意、十時ヨリ十二時マデ園芸ノ先生杉山先生ノ送別会、昼食ハ送別会場デ頂ク。午前一時ヨリ三時マデ鈴木先生ノ副業、三時ヨリ五時マデ柔剣道（東海林先生ガコラレヌノデ船越先生ガカハル）。六時夕食、七時ヨリ自習、九時礼拝、九時半消灯。

秋田県ノ青年ハ十時頃ノ汽車デ出発ス。

所感、秋田県ノ青年ガ来テ居ル為カ、又事務室番ノ為カ、自分ハ皇国運動等何カラ何マデ身ガハマル様デアツタ。杉山先生ト別レルノハ心細イ様ナ心持ニナリマシタ。

三月拾六日 土曜日 晴後曇 長坂與七

記事、五時起床、襦をなし、五時半甲班掃除乙班武道、七時頃より一同皇国運動さし、礼拝さし、七時四十分頃朝食をなし、一校時は五十嵐先生の郷土史、我が郷土の生みし偉人傑名所古跡等に付き学び、一同大いに発奮する所ありました。二校時の高橋先生の農学大意をせずに赤間先生の教練、手旗を以て週番の引率にて馳足にて。鈴川村の招魂碑の前にて各個教練速足行進、馳足等をなし、後、約招魂碑の所より百米位北方にて歩哨の練習、我等一班は北の方に整列して居たので、我はシヤツツ一枚着て居たので寒い事、全く閉口してしまつた。帰たのは一時近くでした。午后からは赤間先生の室内教練、道場で行進中の伏せ、折敷後で執銃教練、終たのは五時少し過ぎでした。今日は案外夕飯が早くて納豆の菜で御飯も多くて実に有難かつた。明日の一笑会の総会に來た十二期生が数名來所され

ました。又萩野の高橋先生も午后から来所されました。今夜は自由なので大部外出した人がありました。九時礼拝、九時半消灯、明日の総会を思ひつゝ安らかに眠りにつきましますう。

三月拾七日 日曜 晴 伊藤榮二

記事、六時起床、禊なし。今日は日曜なので甲乙両班に分かれて掃除をいたしました、今日ことに一笑会総会なので奮闘して掃除をして、七時より皇国運動を始めました。七時三十分に茨城県の友部より加藤先生、清水先生外酒井章平、相原、土屋、岡崎さん等も見えになりました。加藤先生は所長先生の官舎にお休みになられました。他の酒井、相原、土屋さん等は高橋先生の官舎にお休みになられました。九時頃になりましたら我等の先輩等が来られました。拾時より一笑会総会並に朝鮮開発協会の総会も兼ねて開催されました。開会の辞として高橋猪一先生の挨拶ありました。後高橋要一先生の栄弥〔弥栄〕の会計報告あり、其の後一笑会の協議ありまして、協議としては加藤先生の帯〔滯〕欧所感の製本に付きましてと其の他色々ありました。次ぎに朝鮮開発協会の総会になりました。加藤先生の開会の辞あり、後岡崎さんの協会の報告ありまして、後朝鮮開発協会の発展策に付きまして加藤先生の講演ありまして、後閉会の辞ありまして、総会はこれで終えました。丁度十二時でありましたので、我等の先輩等と一処に道にて昼食して三十分程休憩して、加藤先生の講演あり。題目は第一に農民魂と云ふ事に付きまして話せられました。次ぎに第二としましては殖民問題に付いての山形村の移民者と不二工業会社との関係に付いて話しありまして、第三としては取引問題に付いての講演は終えました。丁度時頃でありました。一寸休憩して茶菓子等食しまして、三時半よりは清水先生の社会の進展に付いて講演ありました。今日は色々なお話を拝庁〔聴〕いたし、我等として此れから農業に従事するに付きまして為になる話を聞きまして誠に有難く感じました。講演が終了したら先輩等が帰りました。加藤先生は所長先生の官舎に帰られました、八時半に加藤先生は急行列車にて帰へられる事となりまして、生徒一同門前に集合いたしました、先生は自動車にて所長先生等高橋猪一先生等は山形駅まで見送くり行かれました。九時半頃帰つて来ました。山形駅出発の時は加藤先生の方より弥栄をととなへて出発されたそうです。前より持〔待〕ちて居りました一笑会総会も終了しました次第である。

記事 三月拾八日 月曜 高山政雄

黎明五時、法螺の音寮内に響きて、十八日は斯くして明けぬ。禊は我等をして、天晴れあな樂しき気分たらしむ。甲班武道乙班掃除、七時より皇国運動を始め、松田君をリーダーとなす。次礼拝謹みて天照皇太神宮を拝し奉り、一同国歌を三唱し、天皇陛下の弥々栄えまさん事を御祈り申す。炊事部骨折の朝食は汁の香りと高く、飯の出来栄へ又更によく、満足を与ふ。八時半於り時間割は変更し、清水先生の農業経営上の御話あり。我等苟しくも農業を以つて立たんと慾する者、須く先生の一句々々を頑味〔玩味〕し以つて己が経営の参与となし、他日の完全を期さん。二校時、午後の三校時は清水先生の御講話、四校時教練、以上。遠来の清水先生には我等の爲めに有益にして御熱心なる御講話を賜まはりし事、我等一同中心〔衷心〕感謝に絶えぬものなり。又此の御講話は我々将来の手本となし、意義あらしめざる可からずと信ず。午後九時礼拝終はり、一同感謝して安き眠に就く。

記事 三月十九日 晴 火曜日 原田十郎 以上

法螺の音に夢破れ、一同五時起床し明けぬ顔して禊場に行き、あな面白く禊した自室掃除の音も青年心を現はした甲班は掃除乙班は武道、午前六時半於〔終〕り、皇国運動一同の元気滂らつした声は寮内を破り天地に響く。七時礼拝し、七時半朝食す、八時於〔より〕十二時迄清水先生の組合経営の目的意義及び組合経営の方針確立に付いての實際經驗談を教わる。正後〔正午〕昼食す。一時於三時迄軍事教練、三時於り五時迄射撃の予備智識、営内生活の際の注意に付てこんこんと教わる。六時夕朝の際東田川郡東栄村の横山達雄君の詔□〔ごんべんに介、紹介〕、我等同志の栄行〔栄光？〕を喜び、食声音面白く喉□三寸過ぎ腸に治まる。午後七時於り九時迄自習、九時礼拝、九時半床就く。何れの先生も真面目の御教導には有難く我等一同の幸福で有る。

三月二十日 水 時々雪 事ム室当番寒河江信一

朝五時起床、甲班武道乙班掃除をなし、六時半より皇国運動、七時礼拝、七時半朝食、八時半より農学大意の肥料十元素説明十時まで、十時より十二時まで皇国精神内の産業組合の話。午後一時より三時半まで米穀研究の替りに習字船越先生に教えて下さいました。三時半より五時まで大掃除、六時食事、七時より九〔九時〕まで自修、九時礼拝、九時半床就く。

三月二十一日 木曜日 秋元正治

春季皇霊祭

五時半起床、甲乙両班にて掃除、六時より一同武道、七時半より皇国運動、所長先生十時の気車〔汽車〕で置賜行き、高橋先生昨日帰家して帰らず。所内はひっそりとして時たま入口の戸のきしる音がする。寮生の出入するのには違いない。日の丸の旗、家毎に美しく、大きな雪がまだらに降っては止み晴れ、残の雪、影長く遠く気〔汽〕笛の音がすると蒸気の音が聞えて消える。夜になつた。雲の薄き所から月が顔を出す。六時半より寮歌練習、事務室のストーブを囲んで合唱の声に酔つて歌つた。坂野助手、大高根農場より帰つて曰く、生れたばかりの子牛が死んだそうだ。可憐な話に黙々として一同退場す。

三月廿二日 金曜 晴 安食亮三

五時起床、甲班武道乙班掃除、六時五十分頃より一同皇国運動、七時二十分礼拝、七時半朝食、八時より十時迄地方制度、十時より十二時迄稲作研究、午後は鈴木先生用事あり、二時ヨリ三時迄副業、三時ヨリ東海林先生お出下され剣道、高橋先生帰所された。廿三日も無事暮し九時礼拝、九時半消灯。以上。

三月〔ママ〕

三月二十三日 土曜日 晴 高橋曹治

五時起床禊して五時半より甲班掃除乙班武道六時半迄、六時四十分より一同皇国運動、七時十分迄、七時十五分より礼拝弥栄三晶〔三唱〕、友部の土屋先生の挨拶があつた。七時半朝食、八時半より所長先生の建国精神反省十時迄。十時より高橋先生の農学大意十二時迄。昼食、一時より教練（野外）各個教授三時迄、十分間の休み、後執銃各個教練、射撃姿勢、行進五時迄、六時に夜食、七時より各自研究、九時に礼拝し週番より当番の報告、九時半に消灯。以上。

三月廿四日 日曜日 曇 峯田理市

六時のホラ貝に夢を破り、自治健児生我先にと禊場へ急ぐ。故此地ぞ甚吉き地、実に愉快なり。六時半甲乙両班の掃除七時皇国運動、七時半礼拝、八時朝食なす。土屋先生は帰る。見学無く日課休業、昼食十一時五〇分、葱の細胞を図書室にて各自研究する、七時自習、明日より軍隊生活にて準備品点検を高橋先生より受く。今日は曇天に又所内は淋し、夕食六時天ぶらの馳走にて食すなり。九時礼拝、九時半消灯。以上。

三月二十五日 月 鈴木源次郎

五時起床、通常の通り武道皇国運動、今日から軍隊生活だ。午前九時所長先生舟越先生に御別れして高橋先生に引率されて九時半足音高く営門をくぐる。直に班につき、脚絆を緩める暇もなく各個教練。午前十一時過ぎ将校集会所裏に於て聯隊長より自治についての訓示があつた。昼食。午后一時より兵器拝借。三時よ〔より〕五時まで執銃教練。終つて入浴して夕食を頂いた。八時の点乎〔呼〕が済むと直ぐ生れて二度目の毛布の袋に入った。明朝は不寝番。早く眠むろうとするがなかなか眠れん。周囲でも小声が絶えない。

三月二十六日 火 堀川時政

朝六時起床してすぐ点乎〔呼〕すむと皇国運動をしまして朝飯で八時半より基本掃〔操〕終つて予行演習やり、十五分の中休み、赤間先生より今より三百年前の血染の桜の説明面白く又勇く、右の耳より左耳え聞き流した。分れて昼飯し、一時迄は午前中の□□を休め、一時より二時半迄は予行演習十五分休で右に向を替て□□で、五時半で夕食で六時半迄で休みて夜間教練で昼の□□もわしれ終て又思出した。七時で終た八時で点乎〔呼〕で九時で毛布の袋に入れて色々の物を思出て眠てしました。

三月二十七日 水曜日 晴 高橋曹治

六時に起床点乎〔呼〕、班内の掃除をして一同皇国運動、礼拝して朝食、後班内で教練をやつた。据銃、照準、撃発の練習、それより通信隊の手旗電話等を見学して歩哨の動作をやつた。終りて昼食、一時より射撃姿勢疎開教練、三時より小関特ム曹長殿に引率されて班内炊事場の見学した。終りて夜食、六時半より城南練兵場に於て夜間演習一班二班に分れて斥候、歩哨の動作をやつた。九時頃まで歸りて班内に入り寝台に付いた。九時半頃消灯。

三月二十八日 木曜日 晴 高橋曹治

六時に起床、点呼、班内の掃除をして一同皇国運動礼拝して朝食、八時頃より狭窄射撃をした。それより小隊教練、終りて新兵器機関銃歩兵砲等の見学して昼食、一時頃より各個教練をした。それより班内に於て横沢少佐殿の有益なる軍事講話があつた。それより疎開教練をし、終りて敷島公園に集り赤間先生よりガイセン桜の御話があつた。それが終りて照準撃発の練習し、五時夜食、班内の掃除をした。六時半より茶話会、所長先生の挨拶が

あり、又、阿部中尉殿のお話もあつた。終りに寮歌を歌ひ九時頃閉会した。九時半消灯。

三月廿九日 金曜日 晴 茂木修策

午前六時起床、昨晩は第二班不寝番なりき。点呼、室内の掃除、然して後ち皇国運動、皆真剣に行ふ。朝食午前七時半、八時半ヨリ九時迄毛布、枕かけ等の洗濯、彼の何百年と経す〔つ？〕濠に於て行ふ。而して後ち営内に練兵場の南端迄攻撃、時々突貫す。後ち今度は追撃練習全く愉快なり。斯如して聯隊生活は終りぬ、正午。午後一時より各室の大掃除有り。班長室から全部、借用兵器返納す。異状なかりき。然して懐しき指導員に御礼申し述べて帰所に就く。全く懐しい感して営門を出たくなかりき。午後四時半帰所。夕食午後五時半、風呂入り多数なり。草臥て早く就床す。午後八時半就床、消灯。安に寝に就く。今朝八時船越先生宅のお子供死亡せられた。深く弔意を述べます。

三月三十日 土曜日（晴）事務室茂木修策

午前五時起床、軍隊生活も終へて再び真面目に禊をしる様は実に自治講習所独特の味がある感せり。室内掃除。甲班掃除あり、乙班武道、講師高橋先生。皇国運動、礼拝、朝食、午前八時より講演、五十嵐先生休講、而して高橋先生の農学大意、肥料の配合。午前十時半より教練、昼食持参で行軍旁々演習、鈴川村通経過してサゲヶ森に向テ前進す。折柄の春の日射良く全く別天地、高天原にでも舞ひ上りたる感じせり。通伝の練習。正午、サゲヶ森の頂で暖い恵を受けながらパンを嚙り、村山平野を遙に眺め実に最上徳内の心が通ぶる感自ら湧出でたりき。旗信号の練習有り、斯くて午後五時帰所せり。春は真実に遠足日和なものである。夕食、後ち自習なし、昨今来軍隊生活で疲れ、明日亦金井村視察に出ねばならぬ為めに皆草臥てる關係上、礼拝は八時にせり。今晚弥栄号四月号印刷所より持つて来たり。明日の金井村の質問を考へて安に寝る。消灯八時半。（完）

三月三十一日 日曜 晴 事ム室当番 樋口

金井村見学：

午前五時の号音と共に床を飛び出し禊し、全員二手に分れて掃除をやり、七時より皇国運動をなし、礼拝朝食し、八時より午食携行の上金井村へ向つて出発した。天候は日本晴、気分迄が晴々しい金井村について江俣実行組合の試作田を見学す。品種、試験、肥料、病虫害、多収穫、緑肥等の試作し、色々の研究をして居らるゝとの事であつた。其れより理

想的の堆肥小屋を見せていたゞき、更に二三町進んで江俣購買販売利用組合の見学、五十嵐政治郎先生より色々の御説明あり。倉庫利用部其他すべての整然たる実に我等を驚ろかす。其れより五十嵐晴峰先生宅に立寄りて血染の桜の事や昔の山形の事等を御聞きし、図面をも見せて戴いて昔の面影をしのぶことが出来てあつた。其他色々御厄介になり退出。鶏の見学、百羽以上の理想的養鶏である。すべて見るもの聞くものは我等の師たらざるはなく、農村の中堅として将来奮闘すべき我々大いに考ふべき点のみであつた。助役様に連れられて村役場に至り午食、色々御馳走になり役場の事につき色々御話を承り書類をも見せて戴く。其後安部覚治先生より補習学校の事及青年団の事等につきて色々御説明を御聞きして四時近く村役場を辞す。途中五十嵐光雄様宅に温室を見せていたゞいて五時帰所す。農場より富樫仁君帰らる。牛は子を生み乳も沢山出るとの事であつた。今晚は少し早加減に礼拝して就寝した。以上。

四月一日 月曜日 晴 我妻

午前五時にホラの声で我等は起床、禊五時半乃至甲班武道乙班掃除であつた。六時半乃至皇国運動の時に所長先生の家から、所長先生が病気で眠て居るから唯「誰」か皇国運動をして下さいと云ふて来てあつた。六時半乃至皇国運動やり始め、終て七時に礼拝、七時半頃に朝食であつた。八時乃至十時半迄に高橋先生より軍隊生活の書「所」感の答案を書かされた。十一時乃至赤間先生より聯隊の歴史についての軍事講話を聞いた。十二時昼食し、一時乃至五時迄工業学校庭で教練であつた。五時半に夕食して七時乃至九時迄自修、九時に礼拝して夢にいらん。

四月二日 火曜日 雲〔曇〕り 堀川時政

朝五時に起床のカエ〔ママ〕とともにね起き、五時半に週〔集〕合し甲班が掃除、乙班が武道でした。僕と週番の奥山君と二人で事務室を掃除し、いつもの様に皇国運動礼拝をし、七時半頃朝飯をしました。朝飯がおえて八時十五分より所長先生の古神道辨について、十時十五分まで御話なされました。

又十時半より奥田先生の地方制度につきて十二時まで御話でした。午後は一時十五分より船越先生の習字を三時まで習ひました。三時より赤間先生の軍事教練で工業学校庭にて行ひ来た時には五時十五分でした。夕食は五時半頃でした。昼休の時に古神道辨の代金を集めました。七時より九時迄で自修し、九時にて礼拝して九時半に床に入りました。終

四月三日 水曜日 晴 佐竹伝三郎

昨夜、明日神武天皇祭で御休みの命令は既に船越先生より発せられた。起床も六時だ。我等入所した当時は六時と云ふても薄暗かつたが、今は朝日が射して居る。軍隊生活に心が弛みしか、それとも陽春に心が浮立つて来た其れが為か、風邪に罹つたと見へて禊を失敬する者が余程出て来た。杉浦君は帰宅らる。高橋先生も家に帰へらる。杉浦君は我等の模範とすべき青年であつた。近頃にないほがらかな陽春だ。所長先生の果樹剪定に四五人、手伝ふ。何んとも言へない不思議な春の香りに充たされた。この柔い空氣にちつとして居ることが出来ぬと見へて大部分外出する。余程氣を付けねばならぬと反省す。以上。

四月四日 晴（木曜日） 海老名辰郎

本日ハ高橋先生ノ御婚式ナレバ所長先生モ出席ナサレルベク御立止、ヤ、曇リタル大空モ今日ノ良キ日ヲ祝フニヤ、カラリト晴レ渡リ、弥栄ヘマス大君ノ御光ノ下ニオゴソカニモ挙行セラル、デアラウ儀式ヲ一シホ晴レヤカナラシムルコト、思ハレタ。西北ノ空ハルカニ望ミ、共ニ弥栄ヲ祈ル。

午前九時ヨリ県庁見学、副業ノ標本扨ヒ下ゲテ今無シトイフ、残念ナリキ。出デ、山下食品会社ニ行ク。時間ノ都合悪イ為山形電気工業所ヘ行ク。七百度位ナ熱デ硅鉄トカーバイトヲ作ルノデアアル。ソノ焰ノ壯觀ナル、流レ出ヅル溶解セル硅鉄ノ見事ナル而モ鬼氣人ニセマルヲ思ハシム。客氣器ニ受ケタ白熱サレタカーバイトノ熔液ノ冷却スル様ニ百億年間ノ地球ノ變遷ヲ目ノ前ニ見セテ呉レル。此所ヲ辞シテ再ビ山下食品会社ヲ訪フ。サイダー製造ヲ見ル。鐘詰、ビン詰ノ製造ヲ見得ズ残念。サイダー一本ヅ、馳走サル。一同大喜悅ノ様、高天原ユスリテ八百万神共ニ笑フヲ思ハシム。一時近クニ帰所、大掃除、一班階上ト炊事場、二班ハ庭、三班ハ残りヲ。春ニナリ切ツト言フ感ガスル。阿部勝雄君（秋田県）入所希望ニテ訪問セラル。我々ノ同志ガ増加スルコトヲ喜ブ。以上。

四月五日 晴（金曜日） 佐藤清見

今朝ハ常ト同ジデ五時起床デアツタ。私ハ禊場ニ行キ見レバ五六人居タ限リデアツタ。御早様ト云エバ御早様ト常ノ元氣トハ別ナガツタ。禊シテヨリ事務室ニ来テ見タガ、誰一人居ナカツタ。僕ハ事務室、所長室ノ掃除ガ終エタ処ガ、東ノ山ヨリ光々ト朝日ガ自治寮ヲ照ノデアツタ。我等一同ハ皇国運動終エテ寮唱、礼拝、弥栄三唱、食事、八時半カラ所長

先生ヨリ古神道辨ノ講義受ケ、十時ヨリハ農事試験場ノ佐藤先生ヨリ講義受ク。午後一時ヨリハ副業デアツタガ、先生ノ都合ノ為メ、所長先生ヨリ古神道辨、三時ヨリ儉〔劍〕道デアツタガ少々後レルノデ矛〔柔〕儉〔劍〕道ト予定シテ始メテ居タラ、東海林先生ハ四時頃来ラレタノデ、矛〔柔〕道ノ仕合ヲス。白組紅組ト別レテ試合ス。白組ノ大将ハ船越先生、僕等ノ大将ハ須藤さんであツタガ、遂ニ3点デ紅組ノ負ケナリ。白組ノ勝トナツタ。夕食ガ終エテカラ平康植者ヲ送り、南山形駅ヲ別レテ弥栄三唱シテ帰ツテ来ル。帰ツテ日誌ヲ書イタ。夜九時礼拝シテ眠ルノデアツタ。

四月六日 晴（土曜日） 遠藤善次郎

朝五時起床、甲班掃除乙班武道、六時半より皇国運動、礼拝、七時半朝食、八時十時迄所長先生の古神道辨、十時より十二時迄船越先生武道、午後一時より講習生一同専売局見学、午後九時礼拝シテ床ニツイタ。

四月七日 雨 日曜日 深瀬春末

嗚呼月日の達〔経〕つのは水の流るゝ如くとある様に、我等入所以来三ヶ月大寒にもいとわす夢と過ぎにけり。今日も又例の通り六時に号音とともに床より飛び起きて襖を吾れ勝にと行なゐて居る元氣、何んたる自治の健男児ぞや。全員二組に別れて掃事〔除〕をしました。七時より皇国運動をしました。其れより礼拝をして食事をして八時半に上ノ山、金井村方向に一同足を出発した。いか〔遺憾〕ながら私は足がいたくて行く事が出来なかつた。私は事務室に居つて十二時にパンをたべて当番の務をして午後の三時半に炊事がゐなかつたから私と笹竹君と須藤助手と供に炊事をしました。七時に夕飯をたべて夜は自由をしました。九時礼拝をして九時半に消灯をして床につく。弥栄弥栄。

四月八日 月曜日 大山喜七郎

五時起床、甲班武道乙班掃除、全員皇国運動、第一校時の時間に屠殺場見学、八時より牛三頭に豚二頭の屠殺より肉になる迄で十時半頃にて終りて帰所、十時四十分より皇国精神と農業後編、農業の意義にちき御講話あり。午后地理、山形師範学校に行つて教はる。五時半頃万松寺を見学、名勝に付き一御曾様の御講話あり。それから千歳山に登山五時二十分下山す。射的場にて下だり其の場よりカケ足にて所まで一調子にて約二十五分内外来る。以後休み、九時礼拝就床。以上。

四月九日 火曜日 雨 大江

朝五時起床、一同禊をして甲組掃除乙組武道を七時に礼拝して八時から拾時まで所長先生の農業に付き話講「ママ」され、拾時から地方制度を習ひ、壱時から高橋先生の肥料議に付き習ひ、旅行に付き話をされ、我等講習生壱同喜んで旅行を持ちに持ちて居る者ばかりであります。参時より藁細工をし後で見たら形は千差万別で私が見ても申分の無い物は無いと思つて居りました。人生行路ナシ、進んで修養して村民の手本とならねばならんと思ふ。以上。

四月十日 水曜日 曇 早川貞治

武道は甲班、六時五十分表玄関の芝生の上で皇国運動、所長引率で工業学校のグラウンド一周、約四百米と仮定、強剛「行」行軍の脚部鍛練四千米以上約三十分で駆ける調子非常に可く疲労殆どなし。

今日は消防記念日シキリに鐘の音高く低く響き渡る。火災の発生？と驚く。五十嵐先生、横田先「先生」事故により高橋先生により、

- 一、我が今年中特に研究せんとする事項
- 一、我が家の現状より将来の抱負に及ぶ
- 一、我が村の長所と短所

午後は習字、感忠祭之于茲、六字なり。萩野移住者の結婚式で須藤君、叶内君、御苦労であつた。友部から甘藷到着、富樫君は自動車、我妻君、原田君、高橋曹治君は船越先生と共に荷車隊なかなか御骨折であり、大掃除をなす。

四月十一日 木曜日 高橋亮

起床五時乙班武道、六時半ヨリ外デ皇国運動、今日ハ八幡様迄駆「原資料は馬へんに走」足帰りハ師範学校ノ前ヲ通ル。一講事「校時」江坂先生ノ話、二講時高橋先生、三講時米穀研究、四講時矛「柔」剣道、六時夕食、七時より九時迄自習、九時礼拝。今日は矛「柔」剣道の試合やり、私の方は所長先生の働きで勝つ。

四月十三日 土曜日 笹木繁雄

夢より跳ね起きて寮歌を歌ひ乍ら禊を楽しくし、乙班は武道、六時半より馬場に於て駆「原

資料は馬へんに走」足二十五分間、駆〔原資料は馬へんに走〕廻り、今日は昨日より好適運動で有りました。八時三十分頃寮入口前に集合し、一同整列し九時三十分頃刑務所へ到着し其れより所長より町村の健全の發展の構造有り。又且判〔刑〕罰の原因の懇意なる説明が有りした。其れに付きて吾等一同は反省心を頂いた。之より先吾等の中堅なる人格者を以て地方村民の健全なる發展政策を計り、平和農村を作り、且つ皮想〔相〕なる公民を確立する精神が湧き出た。十一時農業會館に到着し多多良君より農業經營の講話が有りした。一時より区裁判所へ行き裁判長より法廷室に於て近代の陪〔陪〕審法の説明が有りしました。其れより所内見学し、二時半頃税務所〔署〕に訪問し、吾等は之より先必要なる税金の事項を田村所長より講話が有りしました。私等は今迄税の事は無関心であつたが始めて理解が出来ました。三時頃帰り一同は苦しい各反感心を頂き乍ら日を暮しました。夜は寮生一同は一日の苦勞を樂しむ為め九時頃就床しました。

四月十四日 日曜日 雲 当番奥山政治郎

朝六時ホラ貝ノ音ニ目ヲサマシ、寢卷ノママデ襖場ニ行キ襖ヲシ、自分ノ室ヲ徐掃〔掃除〕ヲシ、事務室ヲ徐掃〔掃除〕ヲシル。ヤガテ週番ノ高橋ガ一同徐掃〔掃除〕ノ貝ヲ吹ク。生徒一同一控室ノ廊下ニ整立シタ、週番長ガ点呼ヲ取りオワルト一同徐掃〔掃除〕ニ掛カカル。徐掃〔掃除〕ハヤガテ出来上ル。時ハモウ七時ダツタ。ソレヨリ僕ハ茶道具洗ヒナドシテ、十分位タツテカラ皇國運動ノ貝ヲ鳴ラシ、一同道場デ皇國運動ヲシ、八時五分ニ礼拝シテ十分ニ朝飯ヲ食フ。意外ニオイシク食ツタ。日曜日トシテ日課ハナク、又別ニ見学予定モ無イ為ニ二十時頃ヨリ一同記念写真ヲ映シニ行ツタ。一人一人映スノデ意外時間ガ罹ツテ、僕ハ十二時ニ帰ツテ来タ。ア一濟マナイト思ツテ直ニ事務室ニ入ルト、須藤助手ト知ラ無イ卒業生ラシイ人ガ一人ト斎藤洋服店ノ兄サンガ居テ、茶呑話ヲシテ居ツタ。僕ガ移察〔挨拶〕ヲシルト、過ニ炊事場ノ鈴ガ鳴ル。パンヲ食ヲ食フ。生徒トノ造ツタジャムハパン屋ノジャムニ劣ラナカツタ。事務室ニパンノ硬ノヲ食ベナガラ行クト、又モサツキノ知ラナイ卒業生ト須藤君ガ居ツタ。ソシテ色々ト話ヲした。僕ハ卒業生ノ話ヲ聞キ、彼ノ卒業生ノ行ヲ語り得タ。僕ガ講習所ニ来タ責任ヲ心ガラ思イ出シテ、自分ノ不屈キヲ反省シタ。ヤガテ話ヲシテ居ルト、佐藤君ト鈴木君ガ鯨ラ餅ヲモツテ来タ。ソシテ親切ニモ之ヲ焼イテ皆ニ御地馴サレタ。僕ラ舌鼓ヲ打ツナガラ食ベテ、餅ノ製□方法ニ就ヒテ話ヲ聞イタ。ソウシテ皆寮歌ヲ歌ツタ。三時頃ヨリ皆自習スルニ帰ツタノデ、僕一人ニナツタ。ソシテ昨日ノ形務署〔刑務所？〕ノ僕ノ村ヨリ入ツテ居人ヲ思イナガラ、献□テ居ル

トイツシカ眠クナツチャタ。之レデハ駄目だト思ツテ馬鹿声ヲ張上、晶〔唱〕歌ヲ唱ツタ。スルト外出ノ石塚君ヤ帰ヒタ方ガ帰ツテ来タ。僕ハ独リボツチデ悲ルカツタカラ、彼等ヲ多〔大〕イニモテナシタ。デモ僕ガ相想ガ悪イ為カ一組ハ居レ供〔共〕、皆帰ツヤタ。僕ハ自自分〔ママ〕ノ不届キヲ感ジテツ、ク考エラレタ。フト黒板ヲ見ルト、鈴木君ノ件ニ就テト書イテ其下ニ□□山ト書イテアツタ。僕ハ考エタ。五分位考エテヤツト思イ出ハハ、之レハサツキノ卒業生ノ名前ダト思キ、サツキノ卒業生ハ田中ト断言シタ。五時時ハ鳴ル。ヤガテ炊事ノ鈴ガ鳴、一同夕飯ヲ食ベタ。食後一リボツチテ稲ノ事ニ就イテ自習シタ。ソールスト週番ノ高橋二人ガ来テ、明日ノ当番ヲキメテ僕ト色々ト話ヲシタ。ヤガテシバラク立ツト高橋先生ガノート様成物ヲ以テ忙シソーニ御出ニ成ツタ。ソーシテ色々聞キナガラ話ヲシテ九時ニ礼拝シテ床ニ就ク。

一、感想、朝外出シ□、ヒル外出シル人ガアツテ軍隊生活ノ時間尊重ガ実現シテ居ラナイト感シタ。

二、外出ノ時ニ礼儀ガアマリ正シク成イ。何如ニ俣ノ様ナ物カ事務室ニ居タテ今少シ礼儀ヲ守リベキモノト感シタ。

二、卒業生ノ話振リヲ見テ僕モ彼様ニ成リズニハ成ルマイト心カラ自分ノ不届キヲ思イ感シタ。 奥山政治郎

四月十五日 月曜日 雲 海谷

朝五時起床、襖ヲ気持ヨクシ自室ノ掃除、五時半一同集合、甲班武道乙班掃除、六時半ヨリ皇国運動礼拝、七時朝食、七時半農事試験所見学予定デ出発シタ。途中ハ一同正律〔整列〕シテ試験所ノ門ヲクグリ実習田ノ苗代ノ方ヘ行ツタ。試験所ノ先生、並ニ生徒ト友〔共〕ニ一懸命デ種蒔ヲシテ居ツタ。我等一等ハ礼ヲシテ蒔ク所ヲ見テ佐藤先生カラニ苗代ト温床トに色々ノ接〔設〕明があつた。其レモ終リテ一同正律〔整列〕シテ帰リ二十時ヨリ裁判所ヲ見テ十二時二十分帰ツタ。十二時半昼食、一時ヨリ師範学校ヘ行ツテ教ワル。三時半ヨリ軍事講話赤間先生に教訓かあた。六時半夕食、七時自習時に今日ノ裁判所ノ所感ヲ書キ九時礼拝、消灯シタ。以上。

四月十六日 月曜日 晴 鈴木運太郎

今日は朝貝の合図に起床しましたが、なんだか今日は頭が痛むのものがまん致して起床致しました。此の痛むも襖ぎ払致して今日の当番事務室に当つて居るので、掃除に係り、甲班

掃除乙班は武道です。六時半は最早時を定めて居るので、貝にて合図し、一同講庭にて皇国運動も略式致して、速足にて今日は薬師様を通り屠殺場落合橋を渡りて神明村社に参拝、今日の速足は速度は早かたために短かつたが、一同汗に出られました。三十分間係りました。朝食は七時二十分頃でした。八時より赤間先生出席、野外教練、場所は競馬場に於て軽機関銃と小銃との特性に講話、散開の後等時間三十分休み、昼パンを持つて行軍、森谷工場を通り天満神社、石地藏、水源地、東沢村に行□。唐松観音堂に行きました。実に風□〔景〕の良い所□。又た、ぜつび□なる岩の所、古来の人は建たる事と実に恐ました。一同参拝、昼食を□して一時間休み、東沢川を斥候の動作にて渡り釈迦堂の法来寺に行き一同参拝、十分間休み、釈迦堂の公園に上り、今日は帰りました。帰つた時は五時、一同開〔解〕散、六時に夕食、今日は一日教練をしました。午後□〔参？〕時半より茶話会を催されました。一同は種々研究した点を述べ、サツマイモ里芋にて湯を以て楽しく意義有る一日を過しました。

四月拾七日 水曜日 雲り 原田十郎

時は過ぎ五時の起床を法螺貝に示さる。一同禊場に行き打込の気合トもろ供に水は玉となつた。愉快の余りか自然と歌はもれた。五時半週番の点呼も元気良く乙班は掃除をす。甲班は物すぎき気合で武道す。八時より十二時迄○馬場に於ても開散開教練を実施す（赤間先生）。千歳公園東堤防付近で十数名のを開散開の実況を伊藤写真屋君に取つて戴く。午後一時昼食ス。一時半より米穀検査場に見学、斎藤所長より米穀の状況に付て三十分御話しさる。四時半迄一同百五十点に渡る米穀等級鑑定をなす。六時夕食し有志の柔道有つた。九時礼拝し九時半消灯す。

四月拾八日 木曜 曇 高山政雄

五時起床、禊乙班武道、甲班掃除、雨天なれば剛健運動止め、室内で皇国運動を行ふ。八時過から五十嵐先生の金井村研究あり。十時后から柔剣道禊の記念撮影あり。伊藤写真屋の腕前はどんな出来栄か。十二時迄済み、昼食后すぐ集合して雨天の中を県庁内肥料試験所見学にゆく。所長西宮氏から肥料に対する通俗の知識として御話あつた。各自筆記して将来の材となす。三時帰所。新しく着任せられた青木学務部長の講習所訪問あつた。吾等は二つに分れて一方武道の型、もう一方は皇国運動をおめにかける。船越先生、須藤氏御兩人の型は青木氏の特に感ずる何物かがあつた様に考へられた。之等終了后所感の一端

としての御話があつた。中に特に御賞の御言葉がありました。氏の雄弁はよく其の人となりを表しておる様、人格者としての新学務部長を戴く。吾等は非常に幸福なる事を感じました。九時礼拝、九時半消灯、就床。以上。

四月十九日 金曜日 晴 峯田

五時起床、襖甲班武道乙班掃除、六時半皇国運動、以後三十分駆足終り三十分間、七時半朝食、八時出発、所長先生高橋先生引率ニテ農事試験所（見学佐藤先生ヨリ麦緑肥栽培苗代肥料試験田ニ付キ御話ヲ聞き、十一時ヨリ全四十分間ニ豊田先生ノ稻ノ稻熱病発性予防ニ付キテ講話ヲ後、沢田先生土壌試験法ノ講話アリ。後ハ佐藤先生ヨリ蔬菜園芸ニ付キ御話アリテ帰所。時計ハ二時ナリ。二時半ヨリ副業、先生ヨリ副業経営方針ニ付キ講義ヲ御聞き致ス。四時半ヨリ東海林先生儉（剣）道ヲナス。六時夕食、七時自習、九時礼拝ニ所長先生ヨリ明日ノ駆足ヲ五時半出発ニ山寺迄ノ長競里（距離）致ス事ニ決セリ。九時半消灯、就床。

四月廿日 土曜日 雨后雲 伊藤榮二

五時起床、五時半まで甲乙両班掃除して五時半外に整列して山寺にと向かつた。但し須藤君と氏家、武田、斉藤君等は身体工（具）合が悪るので炊事をやつて貰ひまして、やうやく風間過ぎ、荒谷橋も越えて山寺に入った。登道で可成難苦でありました。たうたう遠藤君の家に着きました。皆んなが汗をかいて休んだ。腹がすいたので皆んな元気なささうだ。悉（殊）に鈴木源次郎、元気がなかつた。お茶を御馳走になつて登つた。遠藤君は道案内して貰らつて色々な名所旧蹟等見せて貰、下山して遠藤君又立寄りまして、遠藤君の家では、親切に皆んなが腹がすいたとて御飯等御馳走して貰ひまで、誠に有難がたかつた。元氣出て又山形へと向かつて馳走して来ました。風間に来ましたら少し雨が降り始めて来た。山形へ入た。もう少と云ふので元氣付いて来、雨はどしどし降つて来た。やうやく着いて皆んなめ□て幸ひ初風呂が沸ひて居るので入いつた。つかれて居るので氣持が良かった。今日十四期生第一期終了したので僕に教えて下つた先生に離散として茶話を催しました。諸先生にお使ひしましたけれど、地理の立岡先生に東海林先生がお出で下さいまして、愉快なる茶話会過ぎました。立岡先生、東海林先生の色々な話になる話をお聞しまして、愉快でありました。明日は十三期生の叶内君は明日家庭の事情で帰へる事となりまして、離散として歌を歌ひまで愉快なる送別会をいたしました。叶内君は我等十四期生為に、色々

と御世話下さいまして、明日帰へるとは名残おしいかつた。今日の日も終わりました。九時に礼拝、九時半消灯就寝。

弥栄 四月二十一日 日曜日 小雨 武田忠次郎

今日は日曜日で見学の予定もなく故に皆んな休みにて自由でした。午前十時十五分北山形ステーションより発車、叶内君帰家に就きた。見送りに行くて別れた。今日の日もぶじに終る。九時に礼拝、就床。完。

四月二十二日 月曜 雨 高橋助治

起床五時乙武道甲掃除、雨天の為め道場に於て皇国運動、礼拝、朝食、第一校時八時半所長先生、第一校時高橋先生、後午一時二十分迄で昼食、後午師範学校地理、太平洋問題、四時帰宅、後自習、五時半より入浴中といへ夜飯、六時に入浴した。六時は笹木繁雄君が帰り来て甲種との事で検査の模様を聞き、話に花が咲き居る時、須藤君が手伝を待へて来たので外出をし、帰り伊藤写真館に高橋先生の写真を持つに行きし所、今少し修正する所が有るとの事で八時迄持つて来るとの事で残念ながら帰って来た。所が九時に成んでも来たらす約則〔束〕を破んだ。是で今日の見終り九時に礼拝就寝、完。

四月二十三日 火 清〔晴〕天 石塚五郎

朝ハ起床の貝の音に目さまし床を出て風呂場に行き禊をやり事務室に行き掃除をやりて、五時半より甲乙舎の掃除をや（ママ）、六時より武道をやり八時頃迄でやり、礼拝して朝食し、九時半頃より十二時迄は所長の御話であった。十二時で昼食で、一時頃より高橋先生の御話で四時頃より旅行の準備で六時で夕食し事務室で何事もなく、明日旅行の為に礼拝は八時であった。床についたのは八時半頃であった。